

要 請 書

平成30年6月13日

全国土地改良事業団体連合会
都道府県土地改良事業団体連合会

要 請 書

全国の農村では、都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、減少等により、農地、農業用水等の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧される。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっている。

また、水土里ネットには、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があることから、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなど持てる能力を最大限に発揮するため、その体制強化の推進が喫緊の課題となっている。

このような中、昨年五月、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めないほ場整備事業や、ため池等の耐震化を迅速に進める事業の創設等を盛り込んだ改正土地改良法が成立し、これに則って、農業・農村を巡る情勢変化にしっかりと対応し、これから新たな展開を目指して進んでいくことになる。さらに、今国会では、土地改良区の組織・運営に関する改正土地改良法が成立したところである。

一方、土地改良関係予算は、昨年、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、平成二十九年度補正予算と平成三十年度当初予算を合わせて五千八百億円を確保し、現場のニーズに一定程度応えられるようになったものの、そのうちに占める当初予算の割合は四分の三程度に留まっており、安定的・計画的な事業実施のために、当初予算での予算の確保が必要である。

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の展開方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

このため全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、次の事項の実現を国に強く要請する。

記

- 一 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、昨年九月に施行された改正土地改良法を積極的に活用した事業制度の現場へのより一層の普及を図ること
- 二 今国会で成立した改正土地改良法の適切な実施を図るため、その啓発普及に努めるとともに、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること
- 三 農業・農村が有する多面的機能をしっかりと次世代に引き継ぐため、農地や水路、農道の保全活動等が適切に実施できるよう、多面的機能支払制度への十分な支援を行うこと
- 四 これらの事業を円滑に行うため、平成三十一年度当初予算では、現場のニーズに十分応えられる規模の予算を確保すること

要請者名簿

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊博
副会長 西村 徹
副会長 高貝 久遠

都道府県土地改良事業団体連合会

北海道 会長 尾田 則幸
青森県 会長 野上 憲幸
岩手県 会長 及川 正和
宮城県 会長 伊藤 康志
秋田県 会長 高貝 久遠
山形県 会長 佐貝 全健
福島県 会長 車田 次夫
茨城県 会長 山口 武平
栃木県 会長 大久保 壽夫
群馬県 会長 熊川 栄
埼玉県 会長 三ツ林 裕己
千葉県 会長 林 和雄
東京都 会長 山下 奉也
神奈川県 会長 間宮 恒行
山梨県 会長 保坂 武
長野県 会長 藤原 忠彦
静岡県 会長 伊東 真英
新潟県 会長 三富 佳一
富山県 会長 堂故 茂
石川県 会長 西村 徹
福井県 会長 山崎 正昭
岐阜県 会長 藤原 勉
愛知県 会長 中野 治美
三重県 会長 亀井 利克

滋賀県 会長 秦 眞治
京都府 会長 藤原 秀夫
大阪府 会長 若林 主治
兵庫県 会長 西村 康稔
奈良県 会長 奥野 信亮
和歌山県 会長 二階 俊博
鳥取県 会長 榎本 武利
島根県 会長 長岡 秀人
岡山県 会長 石井 正弘
広島県 会長 木山 耕三
山口県 会長 北村 経夫
徳島県 会長 川真田 哲哉
香川県 会長 大山 茂樹
愛媛県 会長 篠原 実
高知県 会長 桑名 龍吾
福岡県 会長 金子 健次
佐賀県 会長職務代理者
副会長 江里口 秀次
長崎県 会長 宮本 正則
熊本県 会長 荒木 泰臣
大分県 会長 義経 賢二
宮崎県 会長 丸目 賢一
鹿児島県 会長 永吉 弘行
沖縄県 会長 古謝 景春